

平成23年度
岡山県学力・学習状況調査

調査問題を活用した授業改善のポイント例

岡山県教育庁指導課

社 会

7 次のレポートは、あかねさんのグループが、明治政府において活やくした人物についてまとめたものです。これを見て、あとの問いに答えなさい。

歴史レポート

2010年12月14日
担当者 あかね・みらひろ
としゆき・けいこ

今月号は
大久保利通と
小村寿太郎だ

～まずは2人の生きていたころの様子を調べました！～

年	できごと
1858	幕府が各国と不平等な条約を結ぶ
1867	江戸幕府が滅ぶ
1868	明治維新がおこる
1871	廃藩置県が行われる 岩倉使節団が欧米諸国を視察する
1873	地租改正が行われる
1894	日清戦争がおこる
1901	八幡製鉄所ができる
1902	日英同盟が結ばれる
1904	日露(日口)戦争が始まる
1911	不平等条約が改正される



2人について調べてみました！

●大久保利通……

- 大久保利通は、明治維新の中心となった3人の中の1人と言われています。
- 岩倉使節団に参加して近代的な欧米諸国を見て回りました。
- 「日本も欧米諸国と対等に話し合いができるように、近代化を進めなければならない。」と考えていました。
- 中心となって行った廃藩置県や地租改正の制度は、日本が近代化するために必要な政策でした。

●小村寿太郎……

- 若いころにアメリカへ留学し、帰国後、役人となり、外務大臣にまでなりました。
- 外務大臣になってからは、日英同盟が結ばれたり日露(日口)戦争がおこったりするなど、大きなできごとがありました。
- 幕末に日本が結んだ不平等条約を改正するという大きな役目がありました。
- 1911年に日本の関税自主権の回復に成功しました。

まとめ

2人を調べていくうちに、小村寿太郎が活やくしたころの日本と欧米諸国との関係は、大久保利通が活やくしていたころと比べて [] ことがわかりました。

(2) あかねさんたちは、大久保利通と小村寿太郎について調べていくうちに、日本と欧米諸国との関係が変化していることに気づきました。歴史レポート中の [] にはどのような内容が入りますか。書きなさい。

◆問題の概要

年表や歴史上の人物の資料を基に、社会科で学習した言葉を使って日本の様子の変化について説明する問題。



◆正答例

「日本の国際的な地位が向上して
対等な立場になっている」

◆出題のねらい

大久保利通と小村寿太郎の資料をもとに、日本の国力が充実した背景について考えることができる。

◆この問題から見える児童生徒の課題

資料から必要な情報を取り出し、社会科で学習した言葉を使って説明できない

資料から必要な情報を取り出し、社会科で学習した言葉を使って説明するために

課題解決的な学習を一層充実させる

いつでも学習の流れ
を確かめられるように



学習の手引きを作成

活動に具体的な
ねらいをもたせる



課題を
つかむ

自分の
考えをもつ

話し合う
交流する

まとめる
振り返る

・話し合う、交流する場面では、友達の説明を聞いたり自分の考えを説明したりして
深め合っていくことができるということを頭に置いて学習を進めていけるようにする。

資料から必要な情報を取り出す 社会科で学習した言葉を使って説明するために

作業的、体験的な学習を一層充実させ、言語活動を活発に



- ・ゲストティーチャーや友だちに語りかけるように説明させる。
- ・作成したレポートを基にしたりICT機器を活用したりして説明させる。
- ・図、表、グラフなどを使って根拠を示しながら説明させる。



- ・体験で分かったことや感じたこと、疑問などをすぐに記述させたり、話し合わせたりすることで、説明のもとになるコミュニケーションが活発になるようにする。

資料から必要な情報を取り出し、社会科で学習した言葉を使って説明するために

重要な用語や人名などに目を向けやすくする

めあて 不平等条約はなぜ改正されたのだろう。

(予想)

- 外国がやさしくしてくれた。
- 外国にお願いした、交渉しに行った。
- 二つの戦争に勝った。
- 国民が願った。

早く不平等条約を改正してほしい。

(調べる) 教P85 (資)P71

条約改正 **まとめ**

ノルマントン号事件 イギリス船

国民の願い

鹿鳴館 政府が近代化により国の力をつけたこと

1883年 鹿鳴館

1889年 大日本帝国憲法発布

1894年 日清戦争

1904年 日露戦争

洋風化 日本近代化

アジアで初めて近代化

日本強さ

外国との交渉

1894年 治外法権廃止 外務大臣 陸奥宗光

1911年 関税自主権の回復 外務大臣 小村寿太郎

陸奥宗光 小村寿太郎

- ・事実を並べて書くだけでなく、言葉の意味するものやその後の影響が分かるように線でつないでいく。
- ・絵や写真などを言葉と一緒に並べて板書することで時代のイメージをもちやすくする。
- ・色を変えたり吹き出しを使ったりしてポイントとなる情報を見付けやすくする。

資料から必要な情報を取り出し、社会科で学習した言葉を使って説明するために

授業の終わりに確かめ・評価を

・小テストによる評価 (例) 小学6年 授業後、板書やノートを見ながら考えさせる。
 「大久保利通と小村寿太郎の時代では、日本の国際的な地位が大きく変化しました。それを説明するために大切だと思う言葉を板書やノートを見ながら5つ書いてみましょう」

・読解力テストを活用した評価 (例) 平成23年度中学校第1学年(社会4)

まことさんは、中世の文化についてレポートにまとめました。

中世の文化について

鎌倉時代と室町時代は、天皇や貴族に代わって武士が台頭してきた時代です。私は、同じように武士が政権を担当した中世の二つの時代に興味をもったので、それぞれの文化の特色に注目しながら、中世の文化についてレポートにまとめました。

鎌倉時代…鎌倉に幕府が開かれ、武士が台頭したことを受けて素朴で力強い文化がおこり、武士や民衆にも広まった。

室町時代…幕府が京都(室町)に開かれたこともあり、①武家の文化と公家の文化の融合が進んだ。また、村や町で自治をすすめた民衆にも文化が広まった。

お伽草子(おとぎぞうし): 民間に伝えられた話をもとに、儒教や仏教の教訓が加えられた短編小説。「浦島太郎」「一寸法師」など、②当時の社会の様子を反映したものが多く、

中世の文化と私たちの生活

1 下線部①について、そのことがもっともよく現れているところをレポート文中から取り出しなさい。

【取り出し】

レポート文中から情報を取り出す

2 下線部②について、まことさんは「当時の社会の様子」を知るために、お伽草子についてさらに詳しく調べた結果、次のようなことがわかりました。これらの資料を手がかりに、「当時の社会の様子」について以下の書き出しに続けて、「平家物語」にならって説明しなさい。

お伽草子についてわかったこと

- ・読者層は広い範囲であり、庶民も楽しんだ。
- ・お話の舞台は都だけでなく、地方もあり、地方から都にのぼってきて成功する物語がよくみられる。
- ・登場人物は武家、僧侶、貴族、農民、商人など、あらゆる階層に及んでいる。
- ・内容には、立身出世や幸福や富を求める民衆の夢が語られているものが多い。

鎌倉時代の作品である「平家物語」は、平氏の繁栄と没落、武士の合戦の様子などがえがかれていることから、当時は武士中心の社会であったことがわかる。一方で、室町時代の作品であるお伽草子は、

【解釈】

例にならって説明する
(冒頭部分の書き出しに続けて説明を作る)

返却時に回答を紹介し合うことで表現する意欲にもつなげる



説明をつくるための手がかりやきっかけを与えることで、「考えて書く」ことに対する抵抗を和らげ、「無解答」を回避する手だてを。

資料から必要な情報を取り出し、社会科で学習した言葉を使って説明するために

日常の指導から学習環境を整えて

当時の時代背景やその理由まで書けているノート



- ・キーワードの含まれた資料を準備しておき、学習の進度に応じて掲示する。
- ・授業で使用した資料を掲示する。



- ・調べた結果から「考えられること」をノートに記述させる。
- ・学年当初は特に丹念にノートの使い方を指導する。

前時までに使用した掲示物

資料から必要な情報を取り出し、社会科で学習した言葉を使って説明するために

レポートや新聞作成の過程でトレーニング



今月号は
おおくぼとしみち
大久保利通と
こむらじゅうたろう
小村寿太郎だ

年表と資料を併せて活用させることによって
原因と結果、影響が見渡せるようにする

～まずは2人の生きていたころの様子を調べました！～

人物の働きを並べて書いてみることで、時代
の変化や差違を対比的に捉えやすくする

歴史上の人物や時代を
特色づける出来事から
言葉を選んで見出しを
考えるようにする



年	できごと
1858	幕府が各国と不平等な条約を結ぶ
1867	江戸幕府が滅ぶ
1868	明治維新がおこる
1871	廃藩置県が行われる 岩倉使節団が欧米諸国を視察する
1873	地租改正が行われる
1894	日清戦争がおこる
1901	八幡製鉄所ができる
1902	日英同盟が結ばれる
1904	日露(日口)戦争が始まる
1911	不平等条約が改正される

↑ 大久保利通が活やくしたころ
 ↓ 小村寿太郎が活やくしたころ

●大久保利通……

- 大久保利通は、明治維新の中心となった3人の中の1人とされています。
- 岩倉使節団に参加して近代的な欧米諸国を見て回りました。
- 「日本も欧米諸国と対等に話し合いができるように、近代化を進めなければならぬ。」と考えていました。
- 中心となって行った廃藩置県や地租改正の制度は、日本が近代化するために必要な政策でした。

●小村寿太郎……

- 若いころにアメリカへ留学し、帰国後、役人となり、外務大臣にまでなりました。
- 外務大臣になってからは、日英同盟が結ばれたり日露(日口)戦争がおこったりするなど、大きなできごとがありました。
- 幕末に日本が結んだ不平等条約を改正するという大きな役目がありました。
- 1911年に日本の関税自主権の回復に成功しました。

2人を調べていくうちに、小村寿太郎が活やくしたころの日本と
まとめ 欧米諸国との関係は、大久保利通が活やくしていたころと比べて
_____ことがわかりました。

「楽しかった」「きれいにできた」など活動に対する単なる感想ではなく、
課題に対して、社会科で学習した言葉を使ってまとめを書かせるように
する

社会科の好きな子どもに

生活科とのつながりを意識して
地域の文化を活用して

本や資料だけで調べるん
じゃなくて、実際に調べに
行ってみたいな...



地域の文化財に触れて感じたことや
見つけたことを語り合う活動

地域の博物館などを見学して
レポートや新聞を作る活動

公共物や公共施設を活用して
気付いたことを語り合う活動



地域に出かけて地域の方
と直接語り合う活動



働いている人取材してその場でメモをとり、
教室に帰ってまとめたり説明したりする活動